

# 横浜市消防局からのお知らせ！

## 設置しましょう！！住宅用火災警報器

～火災から命や財産を守るために～

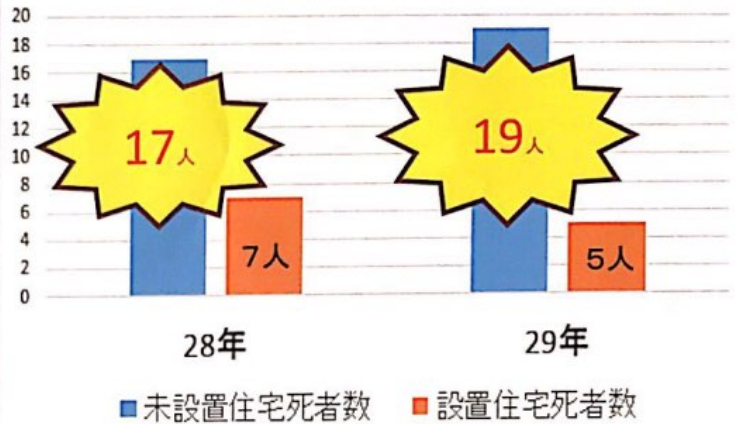
### 未設置の住宅では被害が断然大きい

グラフをみてください。未設置の住宅では、設置済の住宅に比べ火災による**死者数が断然多くな**っています。

#### ◆奏功事例

家人が鍋を火にかけたまま、うっかり外出。通りかかった通行人が警報音を聞きつけ、119番通報。事なきを得た。

28年及び29年中の住宅火災死者数の内訳



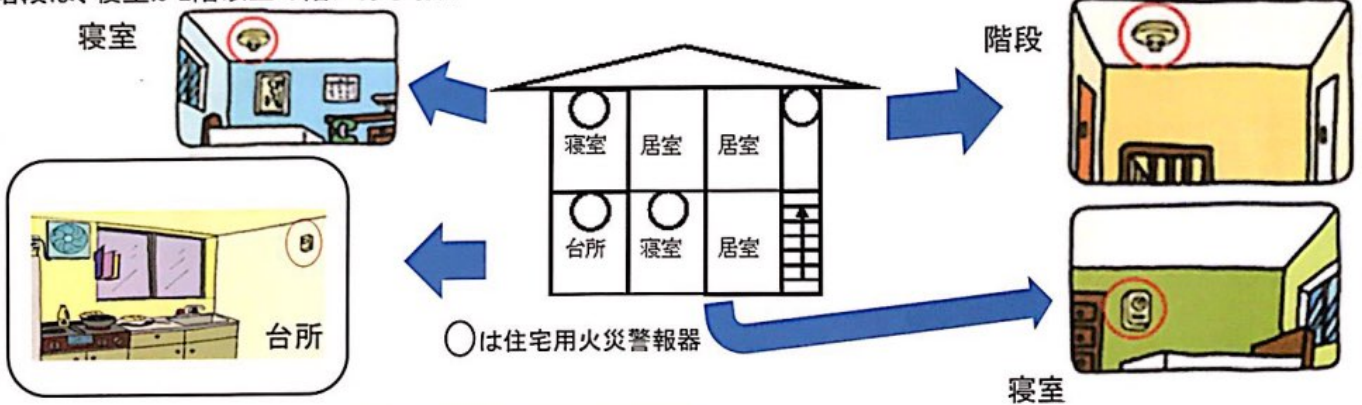
平成28年中の住宅火災の死者数24人中、17人が未設置住宅での死者(約71%)  
平成29年中の住宅火災の死者数24人中、19人が未設置住宅での死者(約79%)

※消防局調査

### どこにつければいいの

「寝室」「階段※」「台所」に必要です。

※階段は、寝室が2階以上の階にある場合



### どこで買えるの

家電量販店・ホームセンター・ガス器具店・電器店・防災機器メーカーの代理店などで販売しています。

### 消防職員が取付支援を行います

高齢者や障がい者世帯の方を対象とした取付支援も実施しています。

※ 取り付ける住宅用火災警報器は、申込者ご自身でご用意ください。

# 横浜市消防局からのお知らせ！ 点検しましょう！10年経ったら取り替えましょう！ 住宅用火災警報器

～住宅用火災警報器を安心してご使用いただくために～

## 定期的に点検しましょう

警報器は定期的に点検を実施し、正常に作動していることを確認しましょう。  
あわせて作動時の音も確認しましょう。

### ◆ 点検方法について

- ① テストボタンや引きひもを引っ張ります。
- ② 警報音（ブザーや音声）を確認します。

※ 異常がある場合は、お買上げの販売店やメーカーのお客様相談室などにご相談ください。



テストボタン



引きひも

## 購入・設置から10年経ったら取り替えましょう

警報器は電池で動いており、電圧が低下した場合、表示や音でお知らせします。警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に取り替えましょう。



10年たったら、とりカエル。

◆設置・点検方法や取付支援などに関するお問い合わせ(FAXも同番号)は、お近くの消防署までお願いします。

鶴見消防署	503-0119	保土ヶ谷消防署	TEL 334-6696 FAX 334-6699	青葉消防署	974-0119
神奈川消防署	316-0119	旭消防署	951-0119	都筑消防署	945-0119
西消防署	313-0119	磯子消防署	753-0119	戸塚消防署	881-0119
中消防署	251-0119	金沢消防署	781-0119	栄消防署	892-0119
南消防署	253-0119	港北消防署	546-0119	泉消防署	801-0119
港南消防署	844-0119	緑消防署	932-0119	瀬谷消防署	362-0119

横浜市消防局予防課 電話 334-6406 FAX 334-6610